



市政に新風を

[vol:12]
毎月 24 日発行

市政
報告

つきいちかい

横浜市会議員

ふしみ

月一会 伏見ゆきえ

第1回定例会が2月1日～3月24日まで開催され、平成29年度予算特別委員会で私も、建築局と道路局に質問を致しました。

道路局編

横浜環状南線について

Q 私の地元である戸塚区では、国道1号の吹上交差点付近で南線に接続するというので、私もかねてより早く道路ができて欲しいと、大変心待ちにしているところです。先日、改めて現場を視察しましたが、栄インターチェンジ・ジャンクションでは、大きな橋脚が立ち並び、すごく現場が進んでいるな、と感じたところです。一方で、そこから戸塚インターチェンジの区間については、まだ目立った工事が行われていないようにも感じています。そこで、同区間の今後の進め方について伺います。

A 引き続き、事業者であります国とも連携いたしまして、地元の皆様に丁寧な説明を行い、準備が整ったところから、順次、工事に入っております。これによりまして、南線は、全線に亘り工事が進められるということになります。また、本格化します国直轄工事に必要な事業費の確保なども国に働きかけながら、事業全体を推進してまいりたいと考えてございます。



都市計画道路の整備推進について

Q 多くの政令指定都市において、都市計画道路の整備率が80パーセントを超える中、本市における整備率は、68.1パーセントと最悪です。また、高齢化が進む中で、誰もが移動し易い交通体系を構築するためには、幹線道路ネットワークの骨格を成す放射環状道路と、公共交通の結節点となる駅前広場を一体的に整備することが必要です。例えば、戸塚区の環状3号線は、国道1号と国道16号を接続する環状道路であり、先日、私も現地を確認しましたが、国道1号より南側の区間である南戸塚地区及び戸塚地区では、既に橋梁など主要な構造物が完成しており、残りの用地取得の見込みが立ったのであれば、早急にこの区間を完成させるべきと感じました。

そこで、環状3号線の南戸塚地区及び戸塚地区の進捗状況について、建設部長に伺います。

A 環状3号線の南戸塚地区及び戸塚地区の進捗状況〈建設部長〉

これまで難航しておりました未取得用地につきまして、昨年4月に土地収用法の規定による申請をいたしました。今後、収用委員会からの裁決によりまして、取得ができる見通しとなっております。用地取得後は、国道1号への早期接続をめざしまして、工事を再開したいと考えております。



建築局編

空家対策について

Q 市内の戸建て住宅の空家総数とそのうち耐震上問題がなく、腐朽・破損のない空家の数について伺いました。

A 平成25年の住宅・土地統計調査によると、市内の戸建ての住宅の空家の総数は2万9千戸であり、不朽・破損がないものが約1万9千戸となっています。耐震基準を満たす昭和56年以降に建てられたものを、国



の空家実態調査を用いて推計すると約 8 千戸となり、一戸建て住宅の空家の約 3 割となっています。

Q 人口減少、高齢化の進展する郊外戸建て住宅地では、子ども世帯が親元を離れ、相続を契機に空家化するケースが増えてきており、街の活力低下が懸念されます。このような空家を有効活用して、子育て世帯の居住を促進することが求められます。そこで戸建て子育てりびいん制度のねらいと今後の展開について伺いました。

A 戸建て子育てりびいんは、空家の流通や活用を進める新たなメニューとして、不朽・破損がない空家を有効活用したい所有者のニーズに応えながら、経済的に厳しい子育て世帯の支援にも対応できる取組と考え、高齢化の進む郊外住宅などに子育て世帯が住むことで、多世代の交流が生まれ、地域コミュニティの活性化につなげていきたい。(子育てりびいん制度とは、民間賃貸住宅の所有者などが事業主体なり、良好な住居環境を備えた賃貸住宅を横浜市が認定し、満 18 歳未満の子供がいる世帯を対象に世帯の収入に応じて最大で家賃の 40%、上限 4 万円の補助を行なっている)

公共建築物整備における、木材利用促進



Q 戸塚区では本市と同じ環境未来都市である、北海道下川町と戸塚区川上地区連合町内会との 3 者で友好交流協定を締結し、ネーミングライツとして、町有林の一部に「とつかの森」と命名するなど、地域間交流を進めています。私も、昨年戸塚区選出の県議会、市会議員全員で下川町へ視察に行き、循環型の森林経営や自立型社会などの取組について聞いてきました。こうした取組を支え、健康な森を維持するためには、横浜のような都市部で、積極的に木材を利用していかなければならない、と感じ、建築物における木材利用の大切さを、改めて、実感したところです。そこで、木材

利用促進に関して、公共建築物が果たす役割について伺いました。

A 木材利用は、地球温暖化防止の他、森林資源の保全や水源のかん養、林業の再生にもつながるえ、大変意義のある取組と考えています。市民の皆様は木材の持つ魅力を実感していただくとともに、設計や施工に関する技術力の向上の他、市民の生活に身近な公共建築物で率先して利用することで、民間事業への普及にもつながると考えます。市民・民間事業者の方々とも連携しながら、木材利用を推進してまいります。

ゆきえのゆくえ

相模鉄道本線(星川駅~天王町駅)下り線高架化切り替え工事を視察しました。夜間限られて時間の中で人海戦術で行います。



とつかのやさい

キャベツをレンジで1分30秒チンして、ごま油小さじ1と塩、豆板醤少々で和えてみました。



チームゆきえ絶賛募集中!!

市政報告の駅頭配布、ポスティング、事務作業など、
伏見ゆきえを支えてくれる方を絶賛募集中です

— 伏見ゆきえの連絡先 —

〒244-0816 横浜市戸塚区上倉田町 389 ベルクール 102

TEL.045-443-5757 / FAX.045-443-5671 E-mail:office@fushimiyukie.com